

神戸大学医学部医学科 令和4年度 入試説明会



神戸大学医学部の沿革

- 1869年（明治2年） 神戸病院
- 1882年（明治15年） 兵庫県立神戸医学校
- 1888年（明治21年） 閉校
- 1944年（昭和19年） 兵庫県立医学専門学校
- 1946年（昭和21年） 兵庫県立医科大学
- 1952年（昭和27年） 兵庫県立神戸医科大学（改称）
- 1958年（昭和33年） 大学院医学研究科（博士課程認可）
- 1964年（昭和39年） 神戸大学医学部（国立移管）
- 1979年（昭和54年） 医学研究国際交流センター設置
- 1994年（平成6年） 医学部保健学科設置
- 2001年（平成13年） 大学院医学系研究科（部局化）、新病棟竣工
- 2003年（平成15年） バイオメディカルサイエンス専攻（修士課程）設置
- 2004年（平成16年） 国立大学法人に移行（独立行政法人）
- 2019年（平成31年） 神戸病院創立150周年、医学部創立75周年



1869年（明治2年）
神戸病院



1944年（昭和19年）
兵庫県立医学専門学校

現在の医学部・医学部附属病院



神戸大学医学部医学科の使命



世界に開かれた国際都市神戸に立地する大学として、豊かな人間性、高い倫理観ならびに高度な専門知識・技能を身につけ、旺盛な探究心と創造力を有する科学者としての視点を持ち、地域への貢献を含めたグローバルな視野で活躍できる医師及び医学研究者の養成を積極的に推進する。特に、学部入学校段階から卒後・大学院までの一貫した取組により基礎医学研究者の育成を行う。

神戸大学医学部医学科の医学教育の系譜



故 西塙 泰美 教授

- ・プロテインキナーゼCの発見者
- ・文化勲章受賞(1988)
- ・拉斯カ賞受賞(1989)
- ・京都賞受賞(1992)



山中 伸弥 京大教授

- ・iPS細胞の発見者
- ・ラスカ賞受賞(2009)
- ・文化勲章受賞(2012)
- ・ノーベル賞受賞(2012)



神戸大学医学部医学科
昭和62年卒業



世界的な基礎医学研究が脈々と継承されています

特徴1:基礎医学研究医養成プログラム

学部教育・大学院教育・卒後臨床研修をシームレスに融合・接続した医学研究教育

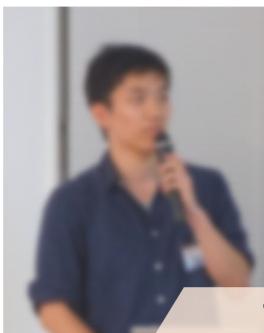
- ・ 新医学研究コース→基礎配属実習→医学研究1-4
- ・ MD-PhDコース
- ・ 大学院早期研究スタートプログラム



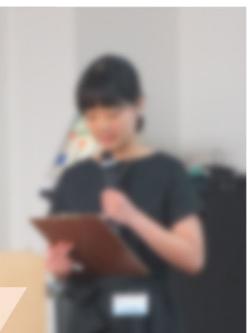
リトリート研修



研究指導



プレゼンテーション&ディスカッション



世界的に活躍する基礎医学研究医の育成に力を入れています

特徴2:医学部医学科学生の海外派遣



ケニア Siaya County Referral Hospital



シンガポール国立大学



ハワイ大学



チェンマイ大学



ピッツバーグ大学



アイルランガ大学

グローバルな視野をもつ医療人材育成を目指しています

特徴3: 多彩な地域医療体験プログラム

兵庫県立丹波医療センター(旧 柏原病院)冬期セミナー



健康講話ツアー(保健学科と合同)



兵庫県内の地域医療を担う人材の育成に力を入れています

特徴4:白衣授与式

臨床実習が始まる前に、医師になる心構えを全員で宣誓します

宣誓

我々医学生一同は、誠実さと思いやりの心を持って患者さんに接し、謙虚に学ぶ姿勢を忘れず、医療者としての責任を自覚し、社会に貢献できる医師を目指して臨床実習に臨む事を誓います。

4年生一同



- ・ 総合型選抜について
- ・ 学校推薦型選抜(地域特別枠)について



注)一般選抜については、本学ウェブサイトをご参照ください

9

総合型選抜で求める学生像

- (1) 生命科学・医学に強い興味を持ち、探究心と学習意欲が旺盛な学生
[求める要素: 関心・意欲]
- (2) しっかりとした基礎学力を身に附けている学生
[求める要素: 知識・技能]
- (3) 協調性があり、問題解決においては独創性と指導力を発揮できる学生
[求める要素: 思考力・判断力・表現力、主体性・協働性]
- (4) 国際的に活躍する意欲を持った学生
[求める要素: 主体性・協働性、関心・意欲] **語学(英語)も重要**

総合型選抜制度について

募集人員:10名

出願資格・出願要件

- 高等学校又は中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和4年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者(現役学生のみ)

選抜方法

- 入学者の選抜は、調査書・自己推薦書・志願者評価書の内容及び「面接・口述試験」並びに令和5年度大学入学共通テストの成績を総合して行います。
- 出願者数が募集人員の約2倍を上回る場合は、大学入学共通テストの成績(5教科7科目)により第1次選抜を行います。
- この場合は、第1次選抜合格者にのみ、最終選抜として「面接・口述試験」を行い、大学入学共通テストの成績、調査書、自己推薦書、志願者評価書を総合して選抜します。

11

総合型選抜について

1. 大学入学共通テスト

教科名	科目名
国語	「国語」
地歴、公民	「世B」「日B」「地理B」「倫理、政治・経済」から1
数学	「数学Ⅰ・数学A」と(「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1)の2
理科	「物理」「化学」「生物」から2
外国語	「英語」

2. 面接・口述試験

生命科学・医学への興味や適性、学習意欲、思考性、論理性、人間性などについて多面的・総合的に評価し、総合型選抜で求める学生像の視点から受験者の資質を見極めます。

12

総合型選抜のミッション

- 旺盛なる探究心と想像力を有する「科学者」としての視点を持った医師及び医学・生命科学研究者
- 広い視野を有し、それぞれの領域における指導者として、国際的に活躍する。

学校推薦型選抜(地域特別枠)で求める学生像

1. 兵庫県地域医療支援医師修学制度を深く理解し、兵庫県におけるへき地(医師不足地域等)の医療を担う強い意志を持った学生
〔求める要素:主体性・協働性、関心・意欲〕
2. 誠実かつ勤勉で、医師にふさわしい人間性を備えている学生
〔求める要素:主体性・協働性、関心・意欲〕
3. 生命科学・医学に強い興味を持ち、探究心と学習意欲が旺盛な学生
〔求める要素:関心・意欲〕
4. しっかりとした基礎学力を身に付けている学生
〔求める要素:知識・技能〕
5. 協調性があり、問題解決において独創性と指導力を発揮できる学生
〔求める要素:思考力・判断力・表現力、主体性・協働性〕
6. 国際的に活躍する意欲を持った学生
〔求める要素:主体性・協働性、関心・意欲〕

学校推薦型選抜(地域特別枠)制度について

募集人員:10名

出願資格・出願要件

- ・兵庫県に所在する高校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者(現役および1浪のみ)
- ・兵庫県外に所在する高等学校等を令和3年4月以降に卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者であって、出願時において、本人または保護者のいずれかが3年以上継続して兵庫県に在住している者
- ・**兵庫県が貸し付ける修学資金を受給し、卒業後は兵庫県が指定する医療機関で従事する者(必須です！)**
- ・各高等学校から推薦できるのは、**1校あたり2名以内**です。

調査書 4.3以上

選抜方法

- ・出願者数が募集人員の約2倍を上回る場合は、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テストの成績により第1次選抜を実施する。
- ・この場合は、第1次選抜合格者にのみ、第2次選抜として「面接・口述試験」を行い、推薦書・調査書・志望理由書の内容、「面接・口述試験」並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行う。

15

学校推薦型選抜(地域特別枠)について

1. 大学入学共通テスト

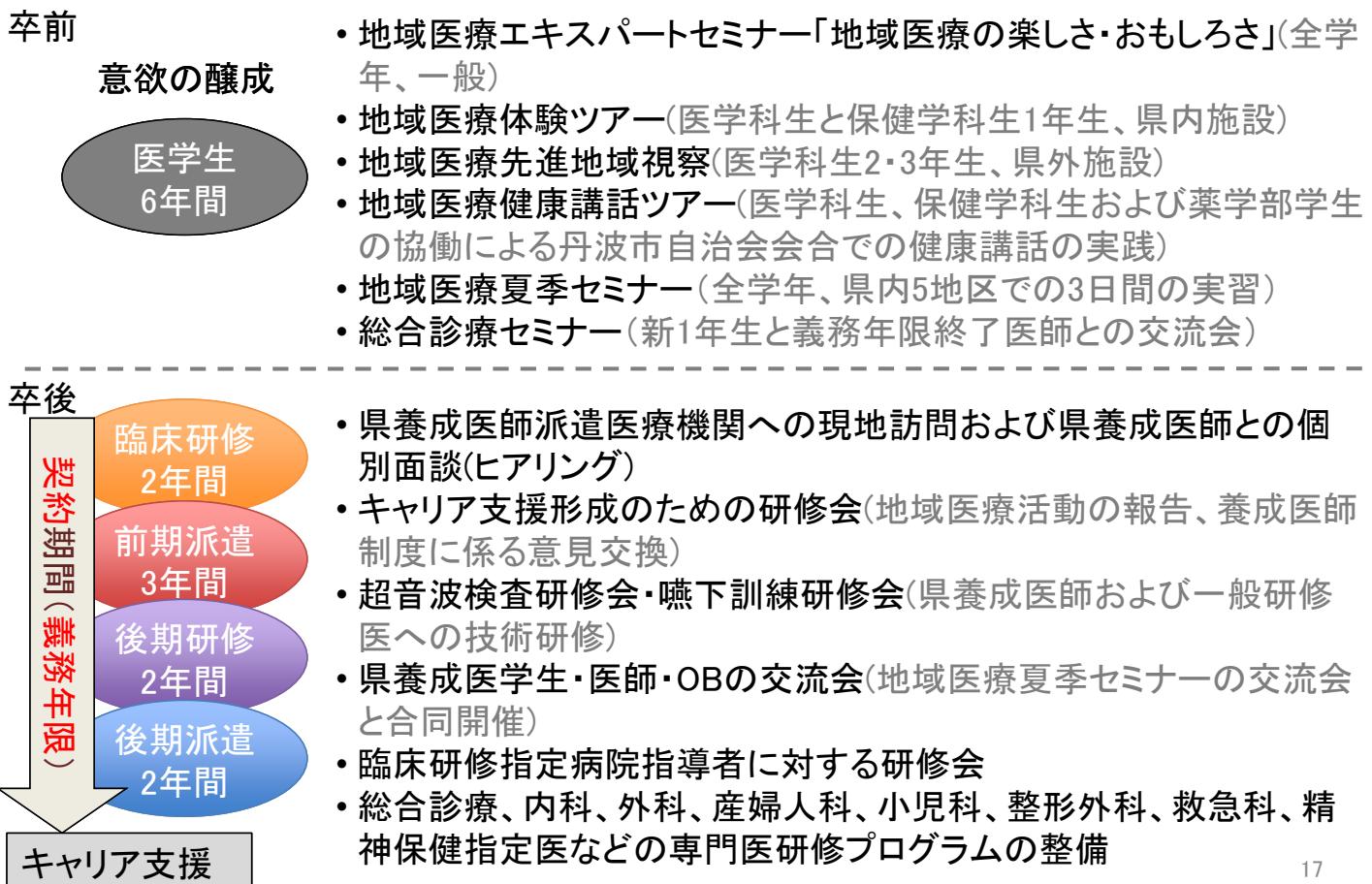
教科名	科目名
国語	「国語」
地歴、公民	「世B」「日B」「地理B」「倫理、政治・経済」から1
数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1)の2
理科	「物理」「化学」「生物」から2
外国語	「英語」

2. 面接・口述試験

地域医療・医学への興味や適性、学習意欲、思考性、論理性、人間性などについて多面的・総合的に評価します。特に、へき地(医師不足地域等)の医療に対する熱意及びへき地(医師不足地域等)に定着できる可能性等の観点から受験者の資質を見極めます。

16

学校推薦型選抜(地域特別枠)の地域医療教育



17

学校推薦型選抜(地域特別枠)のミッション

- 医師の地域偏在の解消に貢献する。(へき地勤務)
- 地域医療のスペシャリスト・リーダーになる。
- 住民の期待に応えて地域社会をけん引する。

注意事項

- 卒後9年間の勤務地と専攻できる診療科には一部に制限があり、県内の医療事情および県の医療政策の影響を受けます。
- 万一、自己都合で契約解除(離脱)をした場合、その後の進路において一部に制限を受ける可能性があります。

神戸大学医学部医学科は、医師・医学研究者を目指す学生の希望を叶えるために、教員・職員が一丸となって充実した教育カリキュラムを提供し、人類の健康に貢献する人材を育てます。

高い志を持った生徒さんのご入学を
お待ちしております。